

学校便り

瀬底っ子

# がじゅまる

本部町立瀬底小学校  
 幼稚園 瀬底693番地  
 TEL(47)2208fax(47)6419  
 園児 9名 児童 60名  
 職員 18名  
 発行：校長 島袋 ゆかり

## 朝から停電!?! ……も知恵を出して…

### 各学級で臨機応変に対応

台風十号も二日前には過ぎ去った九月九日の朝。校舎内には明かりがなく薄暗い状況でした。瀬底島の大部分が停電状態！ すぐに復旧するかと思いきや、なかなか明かりは灯りませんでした。そんな中、教室を回ってみると面白い光景が目に入ってきました。どの学級も、明るさを求めて臨機応変に対応し、学習を進めていました。固定観念にとらわれず、状況に応じた対処法を考える力も大事ですね。いつもと異なる授業形態の中、いつもより集中してがんばれた二時間だったのかも知れません。



### 二年生に絵文字を紹介（三年国語）

三年生の国語の学習に「身の回りで見つけた絵文字を紹介しよう」という単元があります。約8時間学習してきたことを、今回は「見つけた絵文字を、二年生によくわかるように紹介しよう」というめあてを設定して、二年生を招待して発表会を行いました。

発表する三年生は、わかりやすい表現を使ったり、質問を取り入れたり、また聞き手を意識して手振りを交えるなど、工夫を凝らしながら紹介していました。どの児童もよくわかる発表でした。

また、招かれた二年生も、真剣に耳を傾け、質問にも積極的に答えてくれて、素敵な発表会となりました。



「知・徳・体」 調和のとれた子供の育成を目指して・・・



1年：数のまとまりに着目し、数え方を考える



2年：およその見当をつけながら、水のかさを学習 (L, dL)



6年：「拡大図と縮図」  
教科書で学習した知識をもとに、縮図を用いて校舎の高さを計算で求める学習。  
きっと何年経っても忘れないでしょうね。



毎朝、約50人がスロージョギングに参加



「私たちがくらす瀬底島のサンゴを守りたい」  
～7月のシュノーケリング体験を通して～  
夏休み、海辺に行くときあらためて気づく色をうしなって死んでしまったサンゴ達...  
海の中の美しいサンゴはみんなまっ白じゃなかったな...  
海の中のサンゴのように色とりどりに生きかえらせたい...  
みんなが海の中の世界を矢口たら、きれいな海を守れるのではないかな...  
そんな想いをこめて、海の中のサンゴ達を思い出しながら  
1つ1つ息をふきかけるように色づけしました。  
どうかみんながこの作品をみて、きれいな海を守る一人一人になってくれたらなあ...と思ひます。  
瀬底小学校 6年 宮城 心路

6年宮城心路さんの想いがいっぱいつまった夏休みの作品

守っていききたい瀬底の海

六年 仲井間 萌生

七月十日、瀬底の海で五・六年生合同でシュノーケリング体験をしました。瀬底の産業や自然の大切さを学ぶための体験活動です。

事前学習では、東京大学大学院理学研究科教授の茅根先生や、海の環境教育を行っている浪崎さんとテレビ電話で、サンゴの生態や海、自然環境について学びました。

そして当日、武方さん、関口さん、たくさんのインストラクターや保護者の皆さんに協力してもらって、シュノーケリング体験をしました。海の中には、たくさんのテールサンゴが広がっていて、きれいな魚が多くいました。「海って、こんなにきれいなんだな。」と感動しました。泳いでいる魚たちは、青や黄色、黒とカラフルで素敵に輝いていました。サンゴは、きれいに並んでいるように見えて、ところどころ隙間があって、その間を小魚たちが楽しそうに泳いでいました。大自然を目の前にして、「きれいだし、みんなで大切にしていきたいな」と思いました。

一番心に残っていることは、水中で指をなでるしぐさをすると、魚たちがエサをもらえるとかんちがいして、寄ってきたことです。エサがないことがわかると、すぐさまサンゴの間に入り込み、身をかくしていました。サンゴと魚はお互いに身を守りあっているんだなと思いました。

今回の学習を通して、「沖縄のきれいな海を守っていきたい」と強く感じるようになりました。自然を大切にするために、普段の生活を見直したり、自分でできることを探していきたいと思えます。

また、このような学習の機会を作ってくれた周りの人たちに感謝します。「ありがとうございます。」「みんなで自然を守っていきましょう。」

(RBCラジオ「アップル」にて放送)